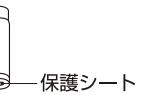


使用上のお願い

- お出かけ前に、本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。
☆漏れた場合は「こんなときは…」の項目をご覧ください。
- 熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わる事があります。
- バッグなどに入る際は、万一の漏れを防ぐために本体を縦置きしてください。
- 底部の保護シートは剥がさないでください。

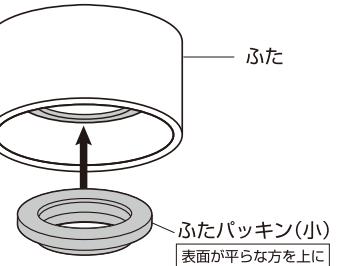


パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと漏れの原因になります。

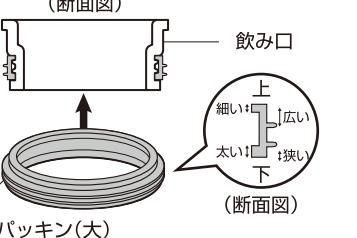
ふたパッキン(小)

平らな面が上になるように、ふたに正しく取り付けます。取り付けた後はパッキンが浮かばないように指でまんべんなく押します。うまく取り付けられない時は割り箸などで押して取り付けてください。



飲み口パッキン(大)

上・下の方向を確認し、飲み口に正しく取り付けます。取り付けた後はパッキンが浮かばないように指でまんべんなく押します。



注意
パッキンの向きは必ず右図の向きで取り付けてください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 本体・ふた・飲み口・パッキンは煮沸しないでください。
☆熱により部品が変形し、漏れてやけどや物を汚す原因となります。
- 食器洗浄乾燥機は使用しないでください。
☆熱により部品が変形し、漏れてやけどや物を汚す原因となります。
- 本体外側はつけ置き洗いしないでください。
☆本体と底のすき間に水が浸入し、サビや保温・保冷不良などの原因となります。
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
☆サビや傷などの原因となります。
- 本体は塩素系漂白剤を使用しないでください。
☆サビや保温・保冷不良、塗装・印刷・シール等のはがれの原因となります。
- ふた・飲み口・パッキンは漂白剤を使用しないでください。
☆サビや保温・保冷不良、塗装・印刷・シール等のはがれの原因となります。
- 本体・ふた・飲み口・パッキンを洗った後は、[パッキンの取り付け方]を参考にして必ずパッキンを正しく取り付けてください。

こんなときは…

わからぬことがありますら、以下の項目をお確かめください。

不具合	確認事項	対処方法	関連ページ
ふたから漏れた	<ul style="list-style-type: none"> ●ふたがゆるんでいませんか？ ●飲み物を入れ過ぎていませんか？ ●飲み口を付け忘れていませんか？ ●パッキンが外れていたり逆さまに取り付けられていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ふたを確実に閉めてご使用ください。 ●飲み物は規定の量までにしてください。 ●飲み口は必ず付けてください。 ●取り付け位置と向きをお確かめください。 	P.4 P.4 P.4 P.2
ふたが開かない	<ul style="list-style-type: none"> ●飲み物を入れ過ぎていませんか？ ●内圧が上がっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●飲み物は規定の量までにしてください。 ●熱い物を入れると、内圧が上がってふたが開きにくくなることがあります。このような場合、無理に開けようとせず、必ず本体を立てた状態で、布をあててゆっくりと開けてください。 	P.4 P.4

不具合	確認事項	対処方法	関連ページ
保温(保冷)が効かない	<ul style="list-style-type: none"> ●熱い(冷たい)飲み物を入れていますか？ ●飲み物の量が充分に入っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●熱い(冷たい)飲み物を入れてください。また、あらかじめ内びんを予熱(予冷)しておくと効果的です。 ●規定の量以内で飲み物の量を多くすると効果的です。 ☆寒冷地等使用環境の厳しい状況では、充分な保温効果が得られない場合があります。 	
内びんが変色した	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れてはいませんですか？ ●赤サビ状の斑点ではありませんか？ ●ザラザラしたものではないですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●酸素系漂白剤をぬるま湯にうすめ入れ、約30分放置し、その後よく洗ってください。 ●水に含まれる鉄分・カルシウムなどが付着する場合があります。このような場合、食酢を約10%含んだぬるま湯を本体に入れ約30分放置し、その後内びんをよく洗い、充分に乾燥させてください。 	
異臭がする	<ul style="list-style-type: none"> ●汚が付着していませんか？ ●飲み物を長時間入れたままにしていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用後はきれいに洗い、充分に乾燥させてください。 ●飲み残しは早めに捨ててください。 	P.7

SU-08 ミニマグボトル 120ml

品質表示
品名／ステンレス製携帯用魔法瓶
実容量／0.12ℓ
保温効力／46℃以上（6時間）
保冷効力／13℃以下（6時間）
材料の種類／胴部：内側 18-8 ステンレス鋼
外側 ステンレス鋼
ふた：ポリプロピレン

SU-09 ミニマグボトル 180ml

品質表示
品名／ステンレス製携帯用魔法瓶
実容量／0.18ℓ
保温効力／56℃以上（6時間）
保冷効力／10℃以下（6時間）
材料の種類／胴部：内側 18-8 ステンレス鋼
外側 ステンレス鋼
ふた：ポリプロピレン
飲み口：ポリプロピレン
パッキン：シリコーンゴム

MADE IN CHINA

●保温効力・保冷効力とは、室温が20℃±2℃において開始時の湯温が95℃±1℃、水温が4±1℃で縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその湯又は水の温度です。

※品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点がございましたら、使用しないで(株)タマハシまでお問い合わせください。

Tamahashi co., Ltd.
輸入販売元 株式会社 タマハシ
〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
TEL 0256-63-9545 FAX 0256-66-2252

要保管

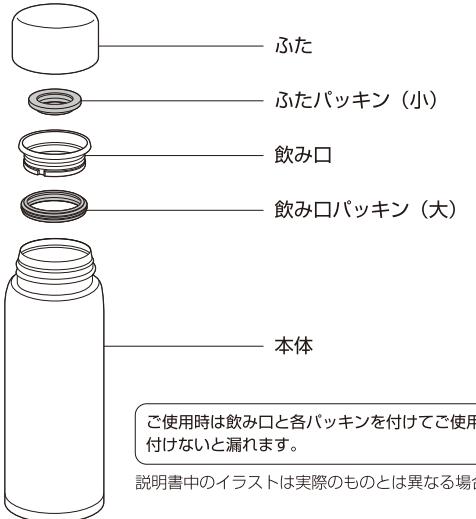
SUPPRIKA

サプリカ
ミニマグボトル

共通取扱説明書

各部の名称

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



ご使用時は飲み口と各パッキンを付けてご使用ください。付けないと漏れます。

説明書中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みのうえ、大切に保管してください。

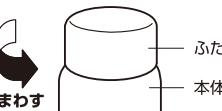
※不適切な取扱いは事故につながります。

使用方法

ご使用前にふた・内びんをきれいに洗い、
充分に乾燥させてからご使用ください。

① ふたを外す

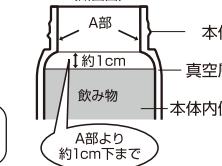
ふたを矢印の方向にまわして外します。



② 飲み物を入れる

飲み物の量は図の位置までにしてください。
入れすぎると、ふたを閉めたときに飲み物があふれ出る原因となります。

本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)
すると保温(保冷)に効果的です。



③ 飲み口を付け、ふたを閉める

本体を立てた状態で、ふたが水平になっている事を確認してから、矢印の方向にまわして確実に閉めます。

ふたを閉めるときは、本体を傾けたり
揺らしたりしないでください。
☆飲み物があふれ出たり、漏れたりして、
やけどや物を汚す原因となります。
☆飲み口を付けないと漏れます。
必ず飲み口を付けてください。



④ 飲み物を飲む

1. 本体を立てた状態で、本体を押さえてふたを矢印の方向にまわして外します。



2. 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みます。
(熱い飲み物を入れた場合は、やけどに注意してください。)

5 飲み終わったら

本体を立てた状態で、ふたを矢印の方向にまわして確実に閉めます。

☆ふたが確実に閉まっていることを確認してください。

ふたを開けたまま放置しないでください。
☆転倒して飲み物がこぼれて、やけどや物を汚す原因となります。



⚠ 使用上の注意

ご使用前によくお読みの上、
必ずお守りください。

⚠ 警告

乳幼児の手の届くところには置かないでください。
いたずらには充分に注意してください。
☆やけどやけの原因となります。



⚠ 注意

●熱い飲み物を入れる際は、本体を傾けずにゆっくり注いでください。

●熱い飲み物を入れた場合、次の点を必ず守ってください。

・傾けた状態、または顔を近づけた状態でふたを開けないでください。
☆内圧が上がり、飲み物が急激に出て、飛散したりしてやけど等の原因となります。
・本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。
☆急に傾けると、飲み物が勢いよく出てやけど等の原因となります。

●飲み物の保温・保冷以外に使用しないでください。

●ストーブやコンロ等の火気に近づけないでください。
☆やけどや変形、変色の原因となります。

●直火、電子レンジ、冷凍庫では使用しないでください。
☆破損や変形、故障の原因となります。

●ふたとふたパッキン、飲み口と飲み口パッキンを洗った後は、パッキンが正しく取り付けられている事を確認し、確実に閉めてください。
☆漏れで、やけどや物を汚す原因となります。

●ふたを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
☆飲み物があふれる原因になります。また漏れで、やけどや物を汚す原因となります。

●次のものは絶対に入れないでください。

・ドライアイス・炭酸飲料

☆内圧が上がり、ふたが開かなくなったり、飲み物が噴き出したり、ふたが破損して飛散することがあります。

・牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの

☆腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたが開かなくなったり、飲み物が噴き出したり、ふたが破損して飛散することがあります。

・みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの

☆本体内側はステンレス鋼を使用していますが、塩分によりサビの原因となります。

・お茶の葉・果肉

☆すきなどにつまり、漏れてやけどや物を汚す原因となります。

●スポーツ飲料を入れて使用する場合、使用した後はすぐに本体内側を洗い、
充分に乾燥させてから保管してください。
☆破損や変形、故障の原因となります。

●飲み物を入れた状態で長く放置しないでください。

☆腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗等によりガスが発生して内圧が上がり、ふたが開かなくなったり、飲み物が噴き出したり、ふたが破損して飛散することがあります。

●お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

・本体・ふた・飲み口・パッキンは煮沸しないでください。
☆熱により部品が変形し、漏れてやけどや物を汚す原因となります。

・食器洗浄乾燥機は使用しないでください。
☆熱により部品が変形し、漏れてやけどや物を汚す原因となります。

●本体の口元に熱いやカニなどをあてないでください。

☆転倒してやけどなどの原因になります。また口元が変形する原因となります。

●落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

☆変形・破損して、漏れや保温・保冷不良等の原因となります。
また、ふたの破損の原因となります。

●改造・分解・修理は絶対にしないでください。

☆故障・事故の原因となります。

●バッグ等で持ち運ぶ時は横にしないでください。

☆バッグ等に入れる時は、漏れを防ぐために本体を上に向け、立てて置いてください。倒した状態や逆さまに持ち運ばないでください。

●スマートフォン・パソコン・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

☆万一液漏れがあった場合、精密機械の破損の原因となる恐れがあります。

●運転中は危険ですので使用しないでください。



お手入れ方法

臭いや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただ
くために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- お手入れはぬるま湯でうすめた中性洗剤を使用してください。
- 本体内側の汚れが落ちない場合は、下表に従って酸素系漂白剤(目安:30分)を使用してください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、充分乾燥させ、高温多湿の場所を避けて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
ふた	<input type="radio"/> 流水洗い <input type="radio"/> つけ置き洗い <input checked="" type="checkbox"/> 漂白剤 <input checked="" type="checkbox"/> 食器洗浄乾燥機	きれいに洗い、水分を拭き取って、 充分乾燥させてください。 ※パッキンも取り外して洗うことができます。
飲み口		お手入れの後は、パッキンを正しい位置に確実に取り付けてください。
パッキン		お手入れの後は、パッキンを正しい位置に確実に取り付けてください。
本体	<input type="radio"/> 流水洗い <input type="radio"/> つけ置き洗い <input type="radio"/> 酸素系漂白剤 <input checked="" type="checkbox"/> 塩素系漂白剤 <input checked="" type="checkbox"/> 食器洗浄乾燥機	キズつけないように柔らかいスポンジなどできれいに洗い、汚れを落とした後、 流水でよくすすぎ、充分乾燥させてください。 酸素系漂白剤を使用する際、本体はふたで密閉しないでください。 本体の内圧が上がりふたが飛び出など危険です。
	<input type="radio"/> 流水洗い <input checked="" type="checkbox"/> つけ置き洗い <input checked="" type="checkbox"/> 漂白剤 <input checked="" type="checkbox"/> 食器洗浄乾燥機	きれいに洗い、すぐに乾いた布で 水分を拭き取って、充分乾燥させてください。